

# サツマイモ基腐病対策のポイント④

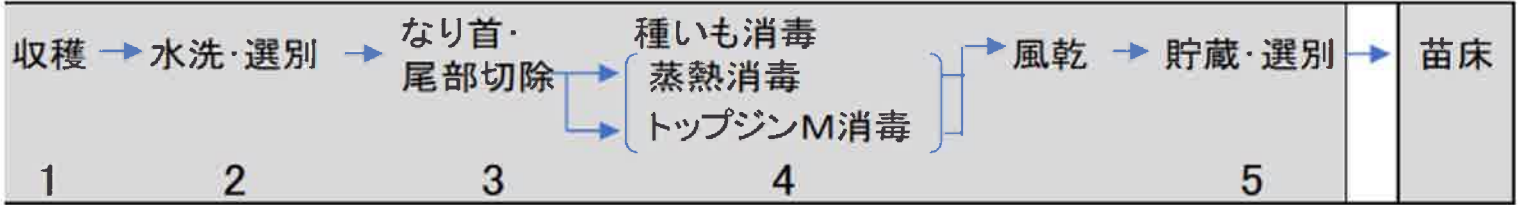
## <健全種いもの確保に向けて>

農産園芸課サツマイモ基腐病対策班



令和5年産の被害軽減に向けて、健全な種いものを準備しましょう！

### 基腐病等による種いもの腐敗を防ぐための作業工程図



#### 1 収穫(健全種いもの確保)

種いもは病気の発生していない「種いも専用ほ場」から採取しましょう。

※ やむを得ず、基腐病の発生ほ場から採取する場合、地際の茎が黒変していない株から採取しましょう(図1)。

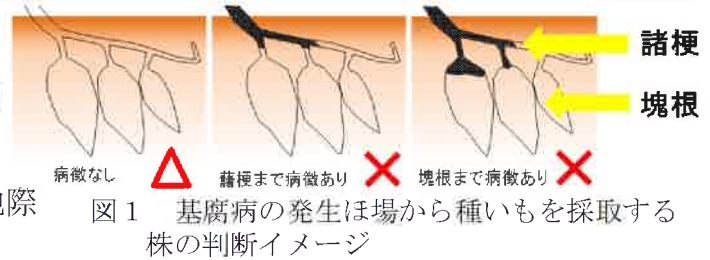


図1 基腐病の発生ほ場から種いもを採取する株の判断イメージ

#### 2 水洗・選別

流水で種いも表皮の土を軽く洗い流すと、表皮の変色がわかりやすくなり、異常な種いもを効率的に除去することができます(図2)。

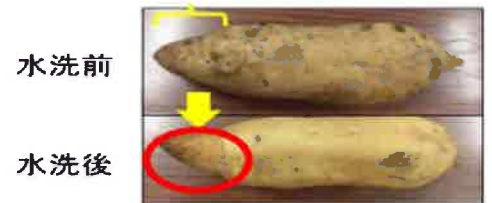


図2 基腐病の病徴の見え方の違い

#### 3 なり首, 尾部切除

- なり首切除は基腐病, 尾部の切除は乾腐病等の貯蔵病害を予防するために行いましょう。
- 切除に使用したハサミ等はこまめに消毒してください。
- ※ 消毒は火炎滅菌又は丁寧な洗浄と拭き取りを行う。

#### 4 種いも消毒(種いも消毒は貯蔵前に行う)

##### (1) 蒸熱消毒

蒸熱消毒直後の種いもは、表皮が柔らかく、傷つきやすいので、以下に注意しましょう

- ① いもの表皮に傷をつけないよう、丁寧に扱う。
- ② 低温(13℃以下)に遭遇させない。
- ③ 低温(同上)に遭遇しない風通しの良い場所で十分に風乾する。
- ④ 蒸熱消毒をしてすぐに伏せ込みを行わない。

##### (2) トップジンM消毒

トップジンM水和剤200倍液に30分間浸漬しましょう。黒斑病の防除にもなります。

※ 日陰に並べて表皮が乾いたことを必ず確認してから貯蔵しましょう。

#### 5 貯蔵・選別

- 温度(14~15℃)と湿度(85~95%)を確保できる定温貯蔵庫で保管しましょう。
- 貯蔵中に腐敗した種いもは取り除き, 周囲の健全種いもへの伝染を防止しましょう。

ご不明な点がございましたら、お近くのサツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム(事務局: 地域振興局・支庁農政普及課)にご連絡ください。

※本資料は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業(01020C)」の成果を活用しました。